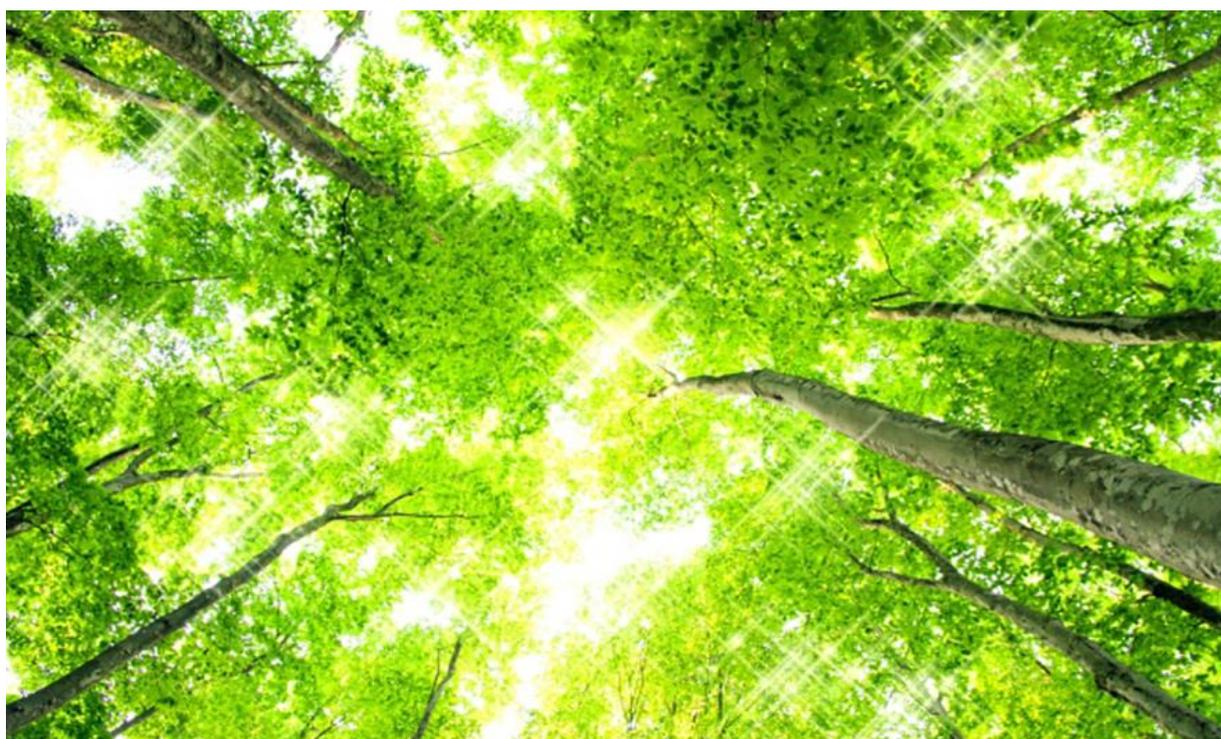


エコアクション21 環境経営レポート

(2019年1月 ~ 2019年12月)



発行：2020年2月5日



緑造園興業株式会社

目次

1. 組織の概要	1
(1) 事業所名及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先	
(4) 事業内容	
(5) 事業の規模	
(6) 事業年度	
2. 認証・登録の対象範囲	
(1) 登録事業所	
(2) レポート対象期間及び発行日	
(3) 実施体制図	2
(4) 役割・責任・権限	
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画	5
6. 環境経営目標の実績	6
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	11
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	12
10. 具体的取組内容	13

【取組の対象組織・活動の明確化】

取組の対象組織・活動

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

緑造園興業株式会社
代表取締役 植原成典

(2) 所在地

本社	香川県高松市林町1073-3	TEL : 087-869-4128
東讃営業所	香川県木田郡三木町井戸426	TEL : 087-899-1128
さぬき営業所	香川県さぬき市長尾東160-2	TEL : 0879-52-5340
資材置場	1.香川県さぬき市寒川町石田東1497 2.香川県木田郡三木町井戸407-1 3.香川県木田郡三木町井戸355-1	

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	開発部 部長 新川孝雄	
担当者	総務部 山下美和	TEL : 087-869-4128

(4) 事業内容

造園工事業	土木工事業	とび・土工工事業
石工事業	舗装工事業	水道施設工事業

産業廃棄物収集運搬業許可（自社工事物件のみ）
（許可番号 03703131469・有効期限 2021年12月17日）

(5) 事業の規模

売上高	4億1,114万円
工事等の件数	650件
従業員	44名（うちパート15名）（2019年12月21日時点）

延べ面積

	本社	東讃営業所	さぬき営業所	資材置場-1	資材置場-2	資材置場-3
従業員	20名	23名	1名	無人	無人	無人
延べ床面積	20㎡	215㎡	13㎡	4,179㎡	935㎡	843㎡

(6) 事業年度

1月～12月

2. 認証・登録の対象範囲（全組織・全活動）

(1) 登録事業所

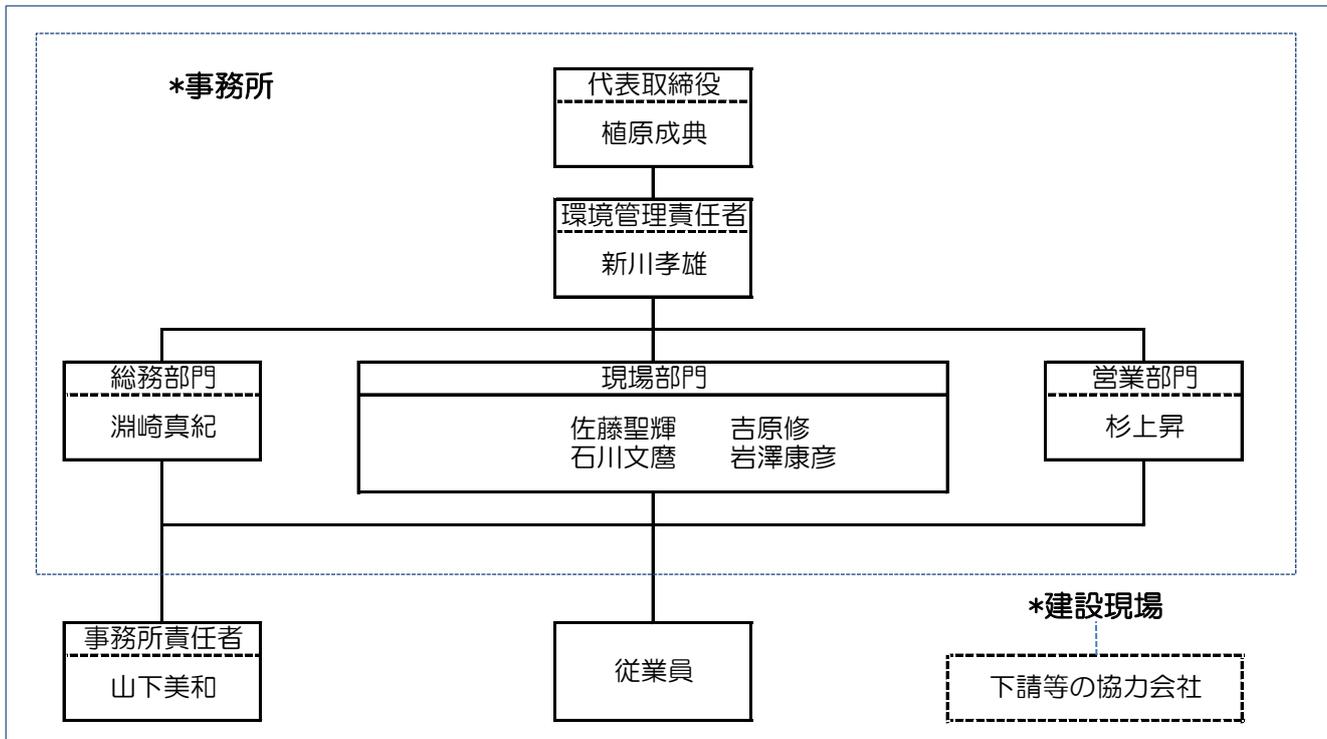
本社	香川県高松市林町1073-3
東讃営業所	香川県木田郡三木町井戸426
さぬき営業所	香川県さぬき市長尾東160-2
資材置場	1.香川県さぬき市寒川町石田東1497 2.香川県木田郡三木町井戸407-1 3.香川県木田郡三木町井戸355-1

関連事業所 無

(2) レポートの対象期間

2019年1月～2019年12月
発行日 2020年2月5日

(3) 実施体制図



(4) 役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 全従業員に対する教育・訓練の実施 環境経営目標、環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 緊急事態への対応マニュアルの承認 環境経営レポートを確認し、承認 環境関連法規等取りまとめ表の承認 取組に必要な手順書の承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境経営目標、環境経営計画書を作成 環境経営の取組結果を代表者に報告 環境経営レポートの作成 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 緊急事態への対応マニュアル作成 取組に必要な手順書の作成
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境への負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境経営の実績集計
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 自部門に関する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的、積極的に環境経営活動へ参加

3. 環境経営方針

緑造園興業株式会社 環境経営方針

基本理念

当社は、緑のある美しい豊かな環境を受け継ぎ次代に残していくことを責務と考え、深刻化する地球温暖化問題に自覚を持ち、本業である造園土木業を通じて、環境保全活動に全社一丸となって自主的・積極的に取り組みます。

行動指針

1. 具体的に次の項目に取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物排出量の削減
- ③ 水使用量の削減
- ④ 化学物質量の適正使用・管理と削減
- ⑤ 環境配慮への取組
- ⑥ 地域社会への貢献

これらについて環境経営目標・環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境経営方針は、全ての従業員に周知し、環境経営レポートを広く一般に公表します。

制定日：2014年7月22日
改訂日：2019年1月27日

代表取締役 植原 成典

4. 環境経営目標

【中・長期目的・目標】

目的	単位	上段：目標値 下段：基準年対比			
		※1 基準	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	131,701	131,042 0.5%削減	130,384 1%削減	129,725 1.5%削減
廃棄物排出量の削減 ※3	kg	115,530	114,375 1%削減	113,219 2%削減	112,064 3%削減
水総使用量の削減	m3	330	328 0.5%削減	327 1%削減	325 1.5%削減
化学物質使用量の削減	kg	22	21 5%削減	20 10%削減	19 15%削減
剪定・除草ゴミの再資源化 ※4	%	100	100	100	100
地域社会への貢献	回	12	12	12	12

※1 2014年～2016年実績の平均値を基準値とした。

※2 電力のCO2発生量については、四国電力の調整後排出係数0.669 (kg-CO2/kWh) を使用した。
(四国電力発表2015年度実績に基づく)

※3 剪定・除草ゴミについては工事量の変化により、削減目標設定が困難なため、廃棄物排出量には含まない。

※4 剪定・除草ゴミは、リサイクル業者に委託し再資源化を行う。

【短期目的・目標】

○取組期間 2019年1月 ～ 2019年12月

○全体

目的	単位	※1 基準	目標 2019年度
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	131,701	129,725
廃棄物排出量の削減 ※3	kg	115,530	112,064
水総使用量の削減	m3	330	325
化学物質使用量の削減	kg	22	19
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100
地域社会への貢献	回	12	12

○事務所

目的	単位	※1 基準	目標 2019年度
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	34,038	33,527
一般廃棄物排出量の削減 ※3	kg	530	514
水総使用量の削減	m3	281	277
地域社会への貢献	回	12	12

○建設現場

目的	単位	※1 基準	目標 2019年度
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	97,663	96,198
産業廃棄物排出量の削減 ※3	kg	115,000	111,550
水総使用量の削減	m3	49	48
化学物質使用量の削減	kg	22	19
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100

5. 環境経営計画

○事務所

○取組期間 2019年1月 ~ 2019年12月

		具体的な取組	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	①使用しない箇所の消灯 ②節電啓発ポスターの貼付 ③適正温度の維持（夏28℃冬20℃） ④使用していないパソコンの電源を切る	山下美和
	ガソリン使用量の削減	①アイドリングストップの徹底 ②急発進・急加速・急停止の防止 ③出発前の暖機時間の短縮	淵崎真紀
廃棄物	一般廃棄物の削減	①両面印刷、裏紙再利用の徹底 ②ミスプリント防止のため事前確認の徹底 ③ゴミの分別の徹底 ④詰め替え可能商品の購入	山下美和
水使用量	節水	①節水啓発ポスターの貼付 ②流しっぱなしにしない	淵崎真紀
リサイクル	環境・社会貢献	①使用済みインクカートリッジの回収 ②ペットボトルキャップの回収 ③空き缶のプルタブの回収	山下美和
地域貢献	美化活動	①事務所周辺の清掃活動を実施	山下美和

○現場

○取組期間 2019年1月 ~ 2019年12月

		具体的な取組	実施責任者
二酸化炭素	ガソリン・軽油の使用量の削減	①アイドリングストップの徹底 ②急発進・急加速・急停止の防止 ③出発前の暖機時間の短縮 ④定期的な保守点検の実施	新川孝雄
廃棄物	産業廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底 ②資材の過剰発注の防止	新川孝雄
水使用量	節水	①節水啓発ポスターの貼付 ②流しっぱなしにしない	新川孝雄
化学物質	化学物質使用量の削減	①使用材料の調査を行う ②BT剤（微生物農薬）等を導入する	新川孝雄
組織本来の取組	剪定・除草ゴミの再資源化	①剪定・除草ゴミの再資源化の徹底	新川孝雄

6. 環境経営目標の実績

【短期目的・目標・実績】

○取組期間 2019年1月 ~ 2019年12月

○全体

目的	単位	※1 基準	目標 2019年度	実績 2019年度	目標対比 (%)	評価
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	131,701	129,725	102,054	21%削減	○
二酸化炭素の内訳		9,519		8,290		
購入電力		122,182		93,764		
化石燃料						
廃棄物排出量の削減 ※3	kg	115,530	112,064	48,227	57%削減	○
水総使用量の削減	m3	330	325	292	10%削減	○
化学物質使用量の削減	kg	22	19	11		○
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100	100		○
地域社会への貢献	回	12	12	12		○

○事務所

目的	単位	※1 基準	目標 2019年度	実績 2019年度	目標対比 (%)	評価
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	34,038	33,527	22,026	34%削減	○
二酸化炭素の内訳		9,519		8,290		
購入電力		24,519		13,736		
化石燃料						
一般廃棄物排出量の削減 ※3	kg	530	514	447	13%削減	○
水総使用量の削減	m3	281	277	265	4%削減	○
地域社会への貢献	回	12	12	12		○

○建設現場

目的	単位	※1 基準	目標 2019年度	実績 2019年度	目標対比 (%)	評価
二酸化炭素(化石燃料)の削減 ※2	kg-CO2	97,663	96,198	80,028	17%削減	○
産業廃棄物排出量の削減 ※3	kg	115,000	111,550	47,780	57%削減	○
水総使用量の削減	m3	49	48	27	44%削減	○
化学物質使用量の削減	kg	22	19	11		○
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100	100		○

※1 2014年~2016年実績の平均値を基準値とした。

※2 電力のCO2発生量については、四国電力の調整後排出係数0.669 (kg-CO2/kWh) を使用した。

(四国電力発表2015年度実績に基づく)

※3 剪定・除草ゴミについては工事量の変化により、削減目標設定が困難なため、廃棄物排出量には含まない。

※4 剪定・除草ゴミは、リサイクル業者に委託し再資源化を行う。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

○事務所

○取組期間 2019年1月 ~ 2019年12月

		具体的な取組	実施責任者	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	評価
二酸化炭素	電気使用量の削減	①使用しない箇所の消灯 ②節電啓発ポスターの貼付 ③適正温度の維持（夏28℃冬20℃） ④使用していないパソコンの電源を切る	山下美和	○	○	○	○	○
	ガソリン使用量の削減	①アイドリングストップの徹底 ②急発進・急加速・急停止の防止 ③出発前の暖機時間の短縮	淵崎真紀	○	○	○	○	○
廃棄物	一般廃棄物の削減	①両面印刷、裏紙再利用の徹底 ②ミスプリント防止のため事前確認の徹底 ③ゴミの分別の徹底 ④詰め替え可能商品の購入	山下美和	○	○	○	○	○
水使用量	節水	①節水啓発ポスターの貼付 ②流しっぱなしにしない	淵崎真紀	○	○	○	○	○
リサイクル	環境・社会貢献	①使用済みインクカートリッジの回収 ②ペットボトルキャップの回収 ③空き缶のプルタブの回収	山下美和	○	○	○	○	○
地域貢献	美化活動	①事務所周辺の清掃活動を実施	山下美和	○	○	○	○	○

○：計画通り実施 △：一部出来なかった ×：来ていない

○評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント	次年度の取組
二酸化炭素	<p>具体的な取り組みは計画通り実施できた。 今年も大きく成長した緑のカーテンが、室内に入る夏の日差しや紫外線を遮ることで、室内へ伝わる熱を抑えることができた。緑のカーテンの効果に加え、冷房使用時にサーキュレーターや扇風機を併用して部屋の空気を循環させることで、適正温度28度に維持することができ、消費電力量削減につながった。 長年使用していた社用車を経年劣化のため廃車し、新たに低燃費・低排出ガス認定車を導入したことで、ガソリン使用量及び二酸化炭素排出量の削減につながった。 また、今年は暖冬により暖かい日が多く事務所内のガストーブを使わずに過ごしたことで、二酸化炭素排出量の削減となった。</p>	<p>引き続き緑のカーテンに挑戦し室内温度を下げ、エアコンのこまめな温度設定、サーキュレーターや扇風機の併用など少しでも節電できるようにしていきたい。年々、購入電力の大幅な削減は難しくなってくると思うが、できる限りの節電対策を継続的にしていきたい。また、アイドリングストップやエコドライブも意識するよう社内会議などの声かけをしていきたい。</p>
廃棄物	<p>具体的な取り組みは計画通り実施できた。 紙の消費削減のため社員全員が徹底して行っている両面印刷、裏紙の再利用はもちろん、印刷前のレイアウトや校正の確認作業により、ミスプリントが減ってきた。また、会議・打合せ時の紙資料配布低減や、文書等をPDFで保管するなど、文書電子化に努めている。</p>	<p>今後も徹底的に分別・資源のリサイクル化を図り、安易に廃棄物として処理しないようにし、ごみの削減・リサイクルに仕組み、より一層の資源化を推進していきたい。</p>
水使用量	<p>具体的な取り組みは計画通り実施できた。 節水啓発ポスターの掲示により水道水は流しっぱなしにしない等、節水意識をもって取り組めた。使用量は前年実績より少し増加したが、目標は達成した。</p>	<p>雨水を花の水やりに使用するなど、現状の取り組み内容を再度徹底していきたい。引き続き声かけやポスターの掲示方法にも工夫を加え、社員の意識低下を防ぐよう取り組んでいきたい。</p>
リサイクル	<p>具体的な取り組みは計画通り実施できた。 これまで取り組んできた結果、社員全員に、ゴミの分別、リサイクル化への仕組みが浸透した。引き続き使用済みインクカートリッジ回収、コピー用紙やダンボール、古紙のリサイクル、使用済み切手の回収等を実施した。</p>	<p>リサイクルできるものがないか改めて見直し、資源の無駄づかいを減らしていきたい。</p>
地域社会への貢献	<p>具体的な取り組みは計画通り実施できた。 当社では、地元中学の職場体験学習や高校のインターシップなどの受け入れ、また、地域の防火・防災に協力するため社員の消防団入団を積極的に推奨している。奉仕活動などのボランティア活動や、12月に地域で行われたクロスカントリーにも参加した。</p>	<p>次年度も会社と社員が一体となり、地域社会の一員として、人、教育、環境、地域との関わりを軸とした社会貢献活動に積極的に取り組んでいきたい。</p>

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

○現場

○取組期間 2019年1月 ~ 2019年12月

		具体的な取組	実施責任者	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	評価
二酸化炭素	ガソリン・軽油の使用量の削減	①アイドリングストップの徹底	新川孝雄	○	○	○	○	○
		②急発進・急加速・急停止の防止		○	○	○	○	○
		③出発前の暖機時間の短縮		○	○	○	○	○
		④定期的な保守点検の実施		○	○	○	○	○
廃棄物	産業廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底	新川孝雄	○	○	○	○	○
		②資材の過剰発注の防止		○	○	○	○	○
水使用量	節水	①節水啓発ポスターの貼付	新川孝雄	○	○	○	○	○
		②流しっぱなしにしない		○	○	○	○	○
化学物質	化学物質使用量の削減	①使用材料の調査を行う	新川孝雄	○	○	○	○	○
		②BT剤（微生物農薬）等を導入する		—	○	○	—	○
組織本来の取組	剪定・除草ゴミの再資源化	①剪定・除草ゴミの再資源化の徹底	新川孝雄	○	○	○	○	○

○：計画通り実施 △：一部出来なかった ×：出来ていない —：該当なし

○評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント	次年度の取組
二酸化炭素	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 アイドリングストップの徹底など会社全体での取り組みが、社員全員の身について実施できている。	今後も継続して実施する。
廃棄物	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 前年度よりも一層の分別が出来ている。	梱包材はあらかじめ取引業者とも連携をし、減らすようにする。
水使用量	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 夏期の降雨量不足による地下水の貯水量が減り、上水の漏水使用量が前年度より増加している。	灌水や薬剤散布などの水は、可能な限り地下水を使用するようにする。
化学物質	具体的な取り組みはほぼ計画通り実施できた。 今年度も薬臭・汚れがほとんどなく環境に与える影響が少ないBT剤トアロー水和剤を部分的に使用した。	今後も安全性の高いBT剤を使用する。
剪定・除草ゴミの再資源化（組織本来の取組）	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 今までと同じように、リサイクル業者へ持ち込みを継続した。	公園内の刈草等は、堆肥化による利用を進めていく。

7. 次年度環境経営目標

【中・長期目的・目標】

目的	単位	上段：目標値 下段：基準年対比			
		※1 基準	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	107,184	106,648 0.5%削減	106,112 1%削減	105,576 1.5%削減
廃棄物排出量の削減 ※3	kg	69,567	69,219 0.5%削減	68,871 1%削減	68,523 1.5%削減
水総使用量の削減	m3	299	293 2%削減	287 4%削減	281 6%削減
化学物質使用量の削減	kg	22	21 5%削減	20 10%削減	19 15%削減
剪定・除草ゴミの再資源化 ※4	%	100	100	100	100
地域社会への貢献	回	12	12	12	12

※1 2017年～2019年実績の平均値を基準値とした。

※2 電力のCO2発生量については、四国電力の調整後排出係数0.528 (kg-CO2/kWh) を使用した。
(四国電力発表2018年度実績に基づく)

※3 剪定・除草ゴミについては工事量の変化により、削減目標設定が困難なため、廃棄物排出量には含まない。

※4 剪定・除草ゴミは、リサイクル業者に委託し再資源化を行う。

【短期目的・目標】

○取組期間 2020年1月 ～ 2020年12月

○全体

目的	単位	※1 基準	目標 2020年度	
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	107,184	106,648	
エネルギー使用量の削減	電気使用量	kWh	12,741	12,677
	ガソリン使用量	L	16,899	16,815
	軽油使用量	L	23,349	23,232
	灯油使用量	L	248	247
	LPガス使用量	kg	131	130
廃棄物排出量の削減 ※3	kg	69,567	69,219	
水総使用量の削減	m3	299	293	
化学物質使用量の削減	kg	22	21	
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100	
地域社会への貢献	回	12	12	

○事務所

目的	単位	※1 基準	目標 2020年度
電気使用量の削減	kWh	12,741	12,677
ガソリン使用量の削減	L	6,384	6,352
LPガス使用量の削減	kg	131	130
一般廃棄物排出量の削減 ※3	kg	463	461
水総使用量の削減	m3	251	246
地域社会への貢献	回	12	12

○建設現場

目的	単位	※1 基準	目標 2020年度
ガソリン使用量の削減	L	10,515	10,463
軽油使用量の削減	L	23,349	23,232
灯油使用量の削減	L	248	247
産業廃棄物排出量の削減 ※3	kg	69,104	68,758
水総使用量の削減	m3	48	47
化学物質使用量の削減	kg	22	21
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100

7. 次年度環境経営計画

○事務所

○取組期間 2020年1月 ~ 2020年12月

		具体的な取組	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	①緑のカーテンの実施 ②冷房使用時サーキュレーターや扇風機の併用 ③適正温度の維持（夏28℃冬20℃）	山下美和
	ガソリン使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②余分な荷物を乗せない ③停車時のアイドリングストップの徹底	淵崎真紀
廃棄物	一般廃棄物の削減	①両面印刷、裏紙再利用の徹底 ②ミスプリント防止のため事前確認の徹底 ③文書電子化	山下美和
水使用量	節水	①ストップノズルの使用 ②節水啓発ポスターの掲示	淵崎真紀
リサイクル	環境・社会貢献	①使用済みインクカートリッジの回収 ②ペットボトルキャップの回収 ③使用済み切手の回収	山下美和
地域貢献	美化活動	①事務所周辺の清掃活動を実施	山下美和

○現場

○取組期間 2020年1月 ~ 2020年12月

		具体的な取組	実施責任者
二酸化炭素	ガソリン・軽油の使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②余分な荷物を乗せない ③車の乗り合わせ ④停車時のアイドリングストップの徹底	新川孝雄
廃棄物	産業廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底 ②資材の過剰発注の防止	新川孝雄
水使用量	節水	①ストップノズルの使用 ②節水啓発ポスターの掲示	新川孝雄
化学物質	化学物質使用量の削減	①使用材料の調査を行う ②BT剤（微生物農薬）等を導入する	新川孝雄
組織本来の取組	剪定・除草ゴミの再資源化	①剪定・除草ゴミの再資源化の徹底	新川孝雄

8. 環境法規制等遵守 チェックの確認及び違反、訴訟等の有無

環境関連法規	要求事項	遵守チェック結果
廃棄物処理・リサイクル		
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正な分別、保管、収集、運搬、処分	遵守
	産業廃棄物の投棄禁止、焼却禁止	遵守
	産業廃棄物の委託処理、マニフェストの交付、保管	遵守
リサイクル法	建設副産物の発生抑制、再利用、再生利用、再資源化努力	遵守
建設リサイクル法	特定建設資材の分別解体、再資源化の促進、再生資源の使用	遵守
	対象建設工事の届出に係る事項の説明等	遵守
	下請負人に対する元請業者の指導	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車の適正処理	遵守
家電リサイクル法	対象4品目の廃家電の適正処理	遵守
小型家電リサイクル法	対象28品目の廃家電の適正処理	遵守
資源有効利用促進法	資源の有効利用の促進	遵守
大 気 汚 染		
オフロード法	特定特殊自動車使用者の責務、使用の制限	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の適切な設置と簡易点検の実施	遵守
	フロン類の漏えい時の措置、機器廃棄時のフロン回収	遵守
大気汚染防止法	排出基準の遵守義務	遵守
悪臭防止法	規制基準の遵守義務	遵守
騒 音 ・ 振 動		
騒音規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵守
水 質 汚 濁（排 水）・土 壌 汚 染		
水質汚濁防止法	排出基準の遵守義務	遵守
下水道法	公共下水道への排水基準の遵守	遵守
浄化槽法	浄化槽保守管理、定期検査	遵守
	浄化槽からの廃棄物の排出	遵守
PRTR法	第1種指定化学物質の適正管理	遵守
農薬取締法	農薬の使用者の責務、使用規制	遵守
そ の 他 関 連 法 令		
消防法（危政令）	火気の使用に関する規制	遵守
労働安全衛生法	労働災害発生の防止	遵守
	危険物及び有害物に関する規制	遵守
	労働者就業に当たっての措置	遵守
香川県環境基本条例	公害防止等の規制	遵守
高松市環境基本条例	公害防止等の規制	遵守

環境関連法規への違反はありません。また、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

当社は、エコアクション21運用開始から5年が経過し、その間に取り組みも社内に定着してきた。その結果、目標値もほぼ達成しており、個々の意識も向上してきたと感じている。

今回の数値では、各活動への取り組みが浸透してきたことで効果がみられた反面、去年に比べ売り上げの伸び悩みが影響したことが大きな要因として考えられ、まだまだ十分とはいえないところもある。

この結果を踏まえ、今後は改善が不十分なところを会社全体として分析し、活動をさらに強化するとともに、社員一人ひとりがこの状況を理解し行動を起こす必要があると考える。

また、新たな当社独自の取り組み、地域貢献活動やボランティア活動といった社会貢献なども模索しながら、今後も環境負荷低減と環境貢献の両立を目指していく。

10. 具体的取組内容

●消費電力量の削減にむけた取組●

（緑のカーテン設置）

昨年植えたオーシャンブルーは冬越し、6月には大きな青紫色の花を咲かせた。また今年は、プチきゅうり、ミニメロンと新しい種類の緑のカーテンに挑戦した。7月にはこれらが大きく成長し、室内に入る夏の日差しや紫外線を遮ることで、室内へ伝わる熱を抑えることができた。緑のカーテンの効果で冷房を適正温度28度に維持することができ、消費電力量削減につながっている。



（植えつけ状況）



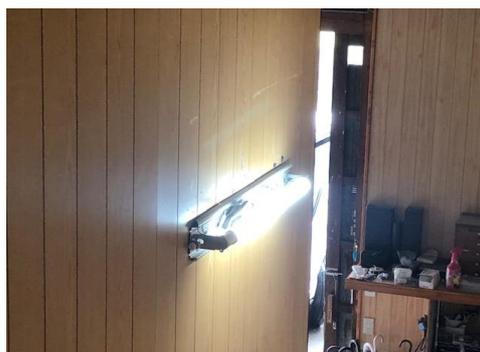
（事務所南側）



（収穫物）

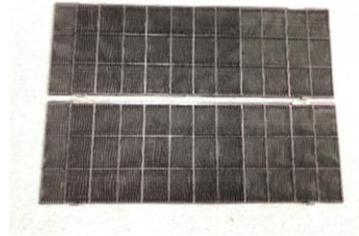
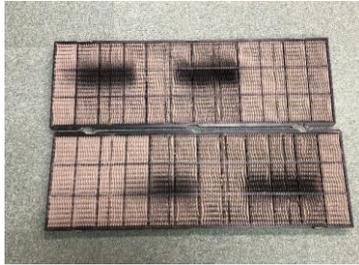
（LEDランプ交換）

事務所の階段照明をLEDランプに取り替えたことで、消費電力量を抑えることができ、節電と二酸化炭素排出量削減につながった。



(エアコンフィルター清掃)

業務用エアコンの余分な消費電力を削減するため、定期的にフィルターの清掃を行っている。



●消費燃料の削減にむけた取組●

(社用車購入)

長年使用していた社用車を経年劣化のため廃車し、新たに2トンキャブオーバー、バンを購入した。今回、低燃費・低排出ガス認定車を導入することで、ガソリン使用量及び二酸化炭素排出量の削減につながった。



(イスズ エルフ)



(トヨタ レジアスエース)

●環境に関する取組●

(ファン付き空調服支給)

真夏の過酷な現場作業を少しでも軽減するために、充電式ファンで清涼を全身に届けることができるファン付き空調服を支給した。空調服は外気を取り込み汗を蒸発させる気化熱で体を冷やすため、稼働時における、電気費用の節約や二酸化炭素排出量の削減につながっている。



●地域貢献への取組●

(職場体験・インターンシップの受け入れ)

当社では、地域貢献・次世代育成の一環として地元中学の職場体験学習や、高校のインターンシップなどの受け入れを積極的に行っている。



(消防団活動)

当社は、地域の防火・防災に協力するため、社員を積極的に入団するように奨励している。

今後も地域住民の生命・財産を守るため、より一層地域社会に貢献できるよう努めて参ります。



(地域貢献活動・イベントボランティア活動)

地域イベント・ボランティア活動への参加など地域に根ざした社会貢献活動にも積極的に取り組んでいる。



(クロスカントリー参加)



(88クリーンウォーク奉仕活動)



(長尾ライオンズクラブ草刈り)

(地域貢献活動・協賛)

「かもめタウン」利用による振り込め詐欺(特殊詐欺)撲滅施策と「年賀タウン」利用による交通事故防止への協賛を行っている。

高松東警察署管内にお住まいのみなさまへ

緑園興業株式会社

〒500-0001 高松市東区立花2-2-15
TEL: 087-898-1128 FAX: 087-898-1386

株式会社 FACE

〒500-0001 高松市東区立花2-2-15
TEL: 087-898-1128 FAX: 087-898-1386

2019

044組 979298

高松東地区防犯隊・高松東警察署からの啓蒙をお願いします。
詐欺や犯罪による犯罪にご注意ください
ねらわれてはいけません!

電話での「還付金があります」「携帯電話が壊れた」「銀行沙汰になった」「カードをあずかります」
これらはすべて...
詐欺です!

だまされないために
「じぶんだけが大丈夫」とタカをくくらず
「電話の話」をうのみにしない
「お金の話」がたら詐欺カモと疑って
ガンとして「振り込みません!」

振り込め前に高松東署(087-898-0110)または
警察総合相談電話(99110)へ相談を!